

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	農地環境保全	担当者	建設農林課	農政係
-------	--------	-----	-------	-----

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	3. 地域を支える力強い産業の村／産業の振興／農業の振興			
関連する主な計画等				
根拠法	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	活動を実施する団体、グループ、農業者等			
事業開始年	H27	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	H31 <input type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	農業従事者の高齢化、担い手の減少による耕作放棄地の発生を抑制し、集落全体で農地の持つ多面的機能の保全、生産環境を整備し適正な農業生産活動の改善を図る。
------	---

具体的取組	<p>【中山間地域等直接支払】中山間地域等の農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けた農業生産活動を維持する活動の支援。</p> <p>【多面的機能支払】多面的機能を支える共同活動や地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る共同活動の支援。※担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、農地集積を後押し。</p> <p>【環境保全型農業直接支払】自然環境の保全に資する農業生産活動の実施に伴う追加的コストを支援。</p>
-------	---

実績・効果	<p>中山間直接支払</p> <p>●第1期対策(H12～H16)：協定集落20、84.2ha ●第2期対策(H17～H21)：協定集落19、84.9ha</p> <p>●第3期対策(H22～H26)：協定集落16、90.4ha ●第4期対策(H27～H31)：協定集落17、94.6ha</p> <p>多面的機能支払</p> <p>●23活動組織 162ha</p> <p>環境保全型農業直接支払</p> <p>●1団体 961ha</p>
-------	---

歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		中山間直接支払	17,374			
	多面的機能支払	6,194				
	環境保全型農業直接支払	769				

事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	16,303	16,606	24,337	24,867	24,867
うち一般財源	4,076	4,307	6,083	6,219	6,219	
うち補助金	12,227	12,299	18,254	18,648	18,648	
うち個人負担						
従事職員(人)	正規職員					
	臨時職員	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定
必要性	住民のニーズは高いか	a 遊休荒廃農地減少対策として期待が高い。	B
	手段、成果は妥当か	b 遊休荒廃農地減少対策、農業振興、地域コミュニティの手段として効果が高い。	
	対象者の設定は妥当か	a 村、地域全体の問題としており農業者でなくても活動に参加しており妥当。	
	村の関与は妥当か	b 担い手育成の面からも妥当。	
有効性	期待された効果が得られたか	遊休荒廃農地の発生防止と農地や多面的機能の確保が図られている。	A
効率性	コストの削減に努めたか	a 国の補助制度であり余地なし。	A
	効率性を高める工夫はされたか	b 活動組織を対象に研修会を開催し、活動内容の見直しを行った。	
公平性	受益者負担は適切か	補助金は上限打ち切り方式。	B
総合評価	B		

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	高齢化や担い手不足による集落活動の低迷化をくい止める為、農地の利用集積を円滑に実施すること。
今後の取り組み	活動に取り組もうとする団体やグループが、取組を実現できるよう支援する体制づくり。